

JSA 神奈川支部通信

No. 4 April 2024 日本科学者会議神奈川支部 発行

事務局長：☎230-0071 横浜市鶴見区駒岡 3-30-G-408 飯岡ひろし

HP：<https://jsa-kanagawa.jp>、携帯電話 080-1987-0994、E-mail：iioka408(at)gmail.com

年会費 10800 円、院生・読者 5400 円 ゆうちょ銀行振替口座 0280-1-12774 日本科学者会議神奈川支部

この号の目次

- ◆ 日本科学者会議神奈川支部第 60 回大会と記念講演のお知らせ JSA 神奈川支部幹事会
- ◆ 保育問題で中島常安会員が記念講演一支部研究交流会を開催 飯岡ひろし
- ◆ 安保法制違憲かながわ訴訟 東京高裁控訴審が結審 判決は 6 月 14 日 後藤仁敏
- ◆ 神奈川 3 区市民の会学習会「基地と住民自治」の報告 後藤仁敏
- ◆ 本の紹介：『ひらく未来 3』（神奈川革新懇、2023） 後藤仁敏

日本科学者会議神奈川支部第 60 回大会と記念講演のお知らせ

日本科学者会議神奈川支部幹事会

JSA 神奈川支部は 5 月 18 日（土）14 時から、第 60 回定期大会を開催します。総会に先立ち、今年の支部大会では萩原伸次郎（横浜国立大学名誉教授）さんによる『サンダース後のアメリカ』と題して記念講演をお願いしました。ウクライナ、ガサの戦争が継続し、世界的に覇権が横行するなかで、その一方を担うアメリカでは、2024 年 11 月に大統領選挙が行われます。新聞などでは早くも、民主党のバイデン現大統領と共和党のトランプ前大統領の一騎打ちになると報道されるなか。日本では、いまだに政治、軍事、経済などあらゆる面で対米従属のもとで市民の生活は悪化しています。

前回の大統領選挙では、民主的社会主義者を自称するバーニー・サンダース上院議員が若者の支持をおもに善戦をし、話題になりました。今回の選挙戦には年齢を理由にサンダース氏は立候補しないと表明されていますが、民主的社会主義の潮流は脈々と続いています。萩原さんは『バーニー・サンダース自伝』（大月書店 2016. 6. 24）の監訳もしているアメリカ経済・政治学者です。

どなたでも参加できます。多くの皆さまの参加を呼びかけます。講演終了後、総会を行いますので、神奈川支部会員のみなさんには日程を調整していただき、積極的な参加をお願いします。

日時：2024 年 5 月 18 日（土）14:00～16:30

会場：かながわ労働プラザ第 9 会議室（横浜市中区寿町 1-4 045-633-5413）

交通：JR石川駅中華街口（北口）徒歩 3 分、市営地下鉄伊勢佐木長者町徒歩 12 分

参加無料、会場定員から 20 名まで（事前に神奈川支部ホームページ <https://jsa-kanagawa.jp> の問合せから申込みされた方を優先）



記念講演「サンダース後のアメリカ」 萩原伸次郎会員（横浜国立大学名誉教授）



14:00～15:00

講演者の紹介：1947年京都府生まれ。70年福島大学経済学部卒業。76年東京大学大学院経済学研究科博士課程単位取得退学。マサチューセッツ大学客員研究員、横浜国立大学助教授、同大学教授を経て、2013年定年退職。著書に、『アメリカ発、第3の構造改革』、『世界経済と企業行動』など。

保育問題で中島常安会員が記念講演－支部研究交流会の開催

飯岡ひろし

JSA 神奈川支部では近年では毎年2月に研究交流会を開催しています。今年も2月24日の午後、横浜市技能文化会館の会議室で開催し11人が参加しました。

記念講演として名寄市立大学名誉教授で会員の中島常安さんから『保育の科学と保育者の役割』と題してお話がありました。

中島さんは、幼児教育における保育にふれ「保育の法的根拠である保育指針は現在を最も良く生き、望ましい未来をつくり出す力の基礎を培うというもの」「保育所は安心できる生活の場であると同時に、望ましい発達を遂げる場」であるとして、戦前からの伝統をもつ『保育問題研究会』（全国保育問題研究協議会、保育問題を自主的・民主的に研究する団体）とその「伝え合い保育」の実践とその事例も加え、保育は理論的には児童中心主義教育と系統主義教育とあるとされるが、極端な児童中心主義は自由放任、極端な系統主義は強制的な教え込みとなりかねないものであって、決定を子どもたちに委ねる指導方法、児童の自治集団づくり、民主的な関係づくりが大切であるとされました。文献には、戦後、日本では幼児期の言葉と集団の教育学として「伝え合い保育」として理論化されたとあります。

中島さんは、研究者としては、実践しながら、経験主義に頼らない客観的根拠を踏まえた保育と、研究室や研究者との共同作業による理論化がもとめられている。そのための「伝え合い保育」は、童心主義を乗り越えて幼児における発達の可能性を追求する保育理論であるとともに、平和学における日常的な平和教育の考え方との共通性があるとされました。

さらに、事例をもとに「伝え合い保育」とはどのようなものか、2つの事例をまじえて、参加者との意見交換をしながら解説されました。現実の保育現場ではさまざまな困難がともなうが「共同の自己実現、協力し合う関係づくり、非暴力的な自己主張を解決する能力を培うこと」が、いまのような状況であるからこそ、必要になっているとまとめられました。参加者からは、日本のような個人主義や民主主義の伝統がまだまだ根付いているとはいえないなかで、親の世代の意識が子供の発達にとって大事ではないかななどの意見がありました。

話題提供では5人の発表がありました。①「有機フッ素化合物 (PFAS) 汚染と日本の環境汚染 (公害) 問題とその歴史」惣田昱夫 (静岡理工科大学元教授)、②「『サメの歯化石のしらべ方』出版の意義について」後藤仁敏 (鶴見大学名誉教授)、③「日本はなぜ女性研究者が少ないのか」益田総子 (医師)、④「能登半島地震を引き起こした流体とは何か」浜田盛久 (海洋開発研究機構・海域

地震火山部門 研究員) ⑤「物理学と数学のつきあい方」北山宏之(神奈川県民間懇)という多彩なものでした。益田さんからは、そもそも医学は科学かいうと、そういう意識は育っていないと、戦後、自らけた大学での医学教育を回顧しながら、そもそも女性が医師になることを前提にしていなかったこと、ましてや、医師に限らず、研究者になるには診察と論文執筆など、出産、育児などがかさなるなど、研究者として負担がきわめて大きいことなどを話されました。日本でのジェンダー平等が進展しないことの結果が、女性研究者が少ないこととなっていることから、社会への進出を後押しすることが重要であるとまとめられました。他の4つの発表は前回の支部通信に要旨が掲載されていますので、ご確認をいただければと思います。全体としては、専門性を発揮しながらも分かり易い内容で、参加者からの発言、討論も充実していました。関内地区の公共の会議室が少なく、なかなか確保が困難で(抽選ですので、当選するのも容易ではありません)ら、時間切れとなってしまう、中途半端に終わってしまった感があつたのが残念でした。

なお、今回、保育を課題にしたのは、労働組合などのさまざまな団体の学習意欲に応えることを意図したものでした。その点では十分とは言えませんでしたので、引き続き呼びかけをして、活動の裾野を広げていきたいと思っています。

安保法制違憲かながわ訴訟 東京高裁で控訴審が結審 判決は6月14日

後藤仁敏

安保法制違憲かながわ訴訟の控訴審の結審が3月5日に、東京高裁101号法廷で開かれました。全国で原告7617名、代理人弁護士1685名で、最高裁で10件、各地高裁で10件たたかわれています。

法廷では、福田護・伊藤真両弁護士により、100頁を超える最終準備署名の説明が行われ、提出されました。そして判決は6月14日14時から101号法廷でと発表されました。

日比谷図書文化館ホールで開かれた報告集会では、弁護団から次のような報告がありました。

福田弁護士は次のように報告しました。石川健治東大教授の証人尋問が全国で初めて実現したことの意義は大きい。石川教授と長谷部恭男早大教授は、違う論理だてで同じ結論に至った。証言をどう判決に反映するか、裁判官に伝えた。

伊藤弁護士は、以下のように発言しました。この事件で国側が何も言わないのはおかしい。裁判官も含め同じ法律家として、憲法の枠を外れてはいけないと訴えてきた。全国25の安保法制違憲訴訟のネットワークの3代目代表として役割を果たしたい。

石黒康仁弁護士は、厚木基地爆音訴訟の原告でもある斎藤昌民さんの控訴人本人尋問を最終準備書面に入れたと述べました。高橋瑞穂弁護士は、朝鮮学校校長の朴在和さんの戦争を起こしてはならないの思いを書面に入れたと、報告しました。竹森裕子弁護士は、カトリック司祭の河野淳さんの憲法の平和主義を守る証言を書面に収めた、と述べました。

岡田尚弁護士は、次のように訴えました。かながわ訴訟では一審でも二審でも4人ずつの証人尋問をおこなった。6月の判決には大きく期待したい。私は運動の面を担当するために全国ネットの代表代行を担当することになった。これまでの裁判で違憲判決もないが合憲判決もない。運動を新しい段階に進めて行こう。

参加者からは、ノーベル平和賞の候補として推薦したこと、マイナカードの危険性、弁護士の皆さんご苦労様ですといった発言が出されました。6月14日の東京高裁での判決、大いに期待して待ちましょう。

2024 年 3 月 10 日、桜木町のぴおシティ 6 階の青少年交流・活動スペースのミーティングルームで、神奈川県 3 区野党共闘を求める市民の会が、ヨコスカ平和船団と非核市民宣言運動・ヨコスカの新倉裕史さん（図 1）を講師に、学習会「基地と住民自治」を開きました。参加者は少なくとも内容豊かで学ぶところが多い学習会でした。

神戸方式とは？

神戸港は横浜港と同じく朝鮮戦争以降、多くの米軍艦艇が入港していたが、神戸市議会が 1975 年 3 月に「核兵器積載艦艇の神戸港入港に関する決議」を「港湾機能の阻害」と市民の不安と混乱」の恐れから、「核兵器を搭載した艦艇の神戸港入港を一切拒否する」と全会一致で決議した。以後、港湾管理者である市長は入港の連絡を受けると非核証明書を請求することで、米軍艦船の入港ができなくなった。もとより入港を拒否しているのではないが、米国政府の方針で核搭載の有無を明らかにできないことになっており、非核証明書を送付することができないのだ。

その背景には、長く続いた神戸港の軍事利用反対の取り組みがあり、1974 年には米軍が使用していた埠頭（第 6 突堤）の返還運動が実っていたことがある。また、それまで国が管理してきた港湾管理権が、1950 年に港湾法の制定で市長に移行した民主化がある。

米国からの日本の「後方支援体制」確立への動き

1994 年の朝鮮半島危機で、ペリー元国防長官は、広島川上弾薬庫から呉港まで民間トラック 148 台分の弾薬輸送など、日本の後方支援体制が求められた。そして、1996 年の日米安保共同宣言と周辺事態法制定、1997 年の新ガイドライン合意により、自治体と民間の港と空港の使用が求められてきた。

しかし、1995 年 1 月には富山新港への米潜水艦の寄港を富山県知事らが拒否し、1998 年 9 月には横浜港への米軍強襲揚陸艦ベローウツの寄港を横浜市が困難と回答して見送られ、2007 年 10 月には在日米軍の青森空港の使用を青森県知事が拒否し、2020 年 3 月、駆逐艦ラファエル・ペラルタの寄港を石垣市港湾課が拒否している。青森県知事は外務省日米地位協定室からの地位協定を守れとの恫喝に屈せず、地方意見の尊重を貫いた。

1999 年 7 月に内閣安全保障・危機管理室が発行した「周辺事態法の解説」では、自衛隊・米軍の艦船が港湾施設を使用する場合、たとえ有事の際でも「地方公共団体（港湾管理者）の許可を得る必要がある。正当な理由がある場合は、地方公共団体の長は協力を拒むことができる」と明記してあるのだ。それは、周辺事態法が重要影響事態法に変わった現在でも、内容に変化はない。地位協定 5 条だけでは入港できない。地位協定上の米軍の特権は国内法的手当てがあって生まれるので、自治体は拒否できるのだ。

非核宣言運動の歩みから

非核宣言運動は、月例デモ、平和船団、ニュース定期発行を柱とし、理想を高く掲げない、持続に耐える、街の風景になることを合言葉に、糾弾より対話、自治体の平和力、聞く力・見る力を手法として、決意はあてにならない、正しさより楽しさ、「継続は力」は本当かを考えながら運動を進めてきた。

市が 2017 年までやっていた市民アンケートも 2023 年に実施した。アンケートでは、基地がない方がよいが 33.2%、ない方がよいが 21.5%、攻撃される心配があるが 57.9%、自衛隊がアメリカの戦争に参加することに対しては反対が 84.2%、横須賀の現在のイメージは「基地のまち」が 92.8%



図 1 原子力空母母港化 50 年の冊子を掲げる新倉裕史さん

だが、望ましいイメージでは「基地のまち」は3.5%に過ぎず、圧倒的多数の市民は基地のない町を望んでいる。

「継続は力」というが、継続のどこが力か悩んでいるという川柳がある。私たちは「力がないから継続する」との思いで運動を続けている。

1950年9月に住民投票で成立した「横浜国際港都建設法」の3条には「横浜の市長は、地方自治の精神に則り、その住民の協力及び関係諸機関の援助により、横浜市をわが国の代表的な国際港都として完成させることについて、不断の活動をしなければならない」とあります。これを糧に、ノースドック米軍揚陸艇部隊配備撤回、瑞穂埠頭の早期全面返還の運動を進めたいと思いました。

本の紹介：『ひらく未来3』（神奈川革新懇、2023）

後藤仁敏

神奈川革新懇（平和・民主・革新の日本をめざす神奈川の会）はこれまで、活動の総括と革新統一戦線の前進をめざして5冊の本を発行してきました。『神奈川革新懇38年の歩み』（2018年11月）、『ひらく未来』（2020年5月）、『ひらく未来2020年版』（2020年10月）、『増本一彦氏を偲ぶ』（2023年2月）、そして『ひらく未来3』（2023年11月）です。

『ひらく未来3』は4つの内容から構成されています。はじめは、2022年11月から「新かながわ」に15回にわたって連載された「シリーズ神奈川の革新懇 市民と野党の共闘再構築へ」です。2番目は、2021年から3年間、「神奈川革新懇ニュース」の1面に掲載された32人のインタビューです。3番目は、この4年間の神奈川革新懇の活動を収録した「神奈川革新懇推進ニュース」です。巻末には、この4、5年間の神奈川での国政・地方自治体の首長選挙の結果と年表が付けられています。

「神奈川革新懇ニュース」も「神奈川革新懇推進ニュース」も、配布されたものはモノクロであったのが、オールカラー写真になっているのが魅力です。じつは、私の2カ所にわたって登場しています。「シリーズ神奈川の革新懇」では「⑫栄区革新懇」の野党共闘と総がかり行動をめざす活動を紹介しました。「神奈川革新懇ニュース」では2021年10月号で「カジノ反対の市民運動が誕生させた山中竹春市長」に登場しています。市長選に立候補した松川康夫さんとともに「市民の市長をつくる会」に参加し、筆頭代表委員を務めていること、その関係で2014年から「カジノ誘致反対横浜連絡会」の共同代表としてカジノ反対運動を進め、住民投票条例を求める19万3193筆の署名を土台に、条例案は1月の市議会で否決されても8月の市長選でカジノ反対の市長を誕生させた経過を紹介しました。

しかし、市長選の結果により菅政権は倒しても、衆院選にはつなげることはできず、私たちはまた悔しい思いをしました。そして2022年12月に閣議決定された安保3文書にもとづいて、5年間で43兆円の軍事費を使った軍事大国化が進められるなかで、横浜港のど真ん中のノースドックへの米軍揚陸艇部隊配備が6万の県民署名を無視して強行されました。辺野古新基地に反対する沖縄県民と連帯しつつ、私たちはノースドックへの米軍揚陸艇部隊配備の撤回、全面返還を実現するまで運動を進めたいと思います。

そのためにも、市民と野党の共同と革新統一戦線の再構築をめざす、神奈川革新懇の活動に学ぶことが必要です。『ひらく未来3』が日本の夜明けをひらく運動に活用されることを願います。



行事案内

- ☆3月22日(金)9:30~11:50 **横浜港とノースドック見学会&学習会** 第1部 船で巡る横浜港とノースドック見学会 集合:午前9時、赤レンガ倉庫奥シーバス乗り場前 募集:先着55名、申込締め切り2月29日(木) 第2部 ノースドック学習会 午前11時~11時50分 「NDへの揚陸艇部隊配備と戦争国家づくり」 会場:万国橋会議センター402号 参加費500円 主催:NDへの米軍揚陸艇部隊配備反対連絡、横浜平和委員会
- ☆3月23日(土)14:00~ **Stop!女川原発再稼働 さようなら原発全国集会in宮城** 場所:勾当台公園市民広場(仙台市役所向い) 15時、アピール行進 雨天決行 発言:鎌田慧さん他 主催:さようなら原発宮城実行委員会 連絡先:080-1673-8391(多々良)
- ☆3月24日(日)10:00~16:30 **戦争と医学医療研究会 定例研究会** 会場:大阪府保険医会館 5階会議室(大阪市浪速区幸町1丁目、<https://osaka-hk.org/access>) ハイブリッド方式(会場参加+Zoom会議室) プログラム:10:00開会、10:05特別講演 歴史のリアリズムを未来へ伝えることの大切さ 元731部隊少年隊員の証言と、飯田市平和祈念館の展示の意義を考える(清水英男氏、原英章氏)、12:05昼食休憩、12:45総会、13:30休憩、13:40一般演題 「イスラエルによるガザへの軍事侵攻の実状 in 2023~2024年」猫塚義夫、「日中口述歴史・文化研究会と『いま語るべき日中戦争』発刊の経緯と意義」李素楨、「仏教者佐藤大雄と細菌戦」末永恵子、「大学を軍事研究に巻き込む安全保障技術研究推進制度--1930年代との比較」大野義一朗 15:45閉会、引き続きハイブリッド方式で交流会 16:30交流会終了 参加費:現地参加1000円、オンライン参加 無料(1口1000円でカンパを受け付け) ゆうちょ銀行 記号番号 00980-1-(空白)16530 戦争と医学医療研究会 連絡先:西山勝夫<https://katsuonishiyama.jimdofree.com/>
- ☆3月24日(日)13:00~15:00 **かなれき映画上映&トークの会** 映画「島で生きる」(監督:湯本雅典) 会場:Lプラザ4階第7会議室(石川町駅徒歩5分) 参加費500円 会場が狭いので、事前連絡を必ずしてください。主催:神奈川県歴史教育者協議会(かなれき) 連絡先:080-3552-5580(長塚)
- ☆3月24日(金)13:00~16:30 **講座「マルクスの資本論体系と変革の理論」ガイダンス** 会場:かながわ県民センター305号室(横浜駅西口徒歩5分) 講師:渡辺憲正(関東学院大学名誉教授) 参加費1000円 定員60人 主催:マルクス/エンゲルス原典講読会 問合せ・申込み:megenten@gmail.com
- ☆3月24日(金)13:30~15:00 **第13回さよなら原発ウォークinさむかわ** 集合:さむかわ中央公園(JR寒川駅徒歩15分)に13時30分に集合 雨天中止 主催:寒川ピースネット 問合せ:080-4959-5450(吉田さん)
- ☆3月24日(金)13:30~15:30 **緊急学習会「緊急事態条項改悪の危機!一選挙をしない国づくり」** 会場:横須賀市産業交流プラザ第2研修室(京急汐入駅徒歩3分) 講師:永山茂樹(東海大学教授) 主催:横須賀市民九条の会 問合せ:090-8055-6443(巴さん)
- ☆3月24日(金)13:30~15:30 **中国近現代史講座全10回 第3回「日本の中国侵略 満州事変への道」** 会場:戸塚地区センター2階B会議室 会費500円(資料代) 講師:岡崎雄兒さん 主催:日中友好協会横浜西南支部 問合せ:080-5081-6522(大幡さん)
- ☆3月24日(金)14:00~16:00 **講演会「世代を超えて市民運動で繋がり、新たな戦前を止めよう！」** 会場:海老名市文化会館3階351~353会議室(相模線海老名駅徒歩7分) お話:菱山南帆子(許すな!憲法改悪・市民連絡会事務局長) 参加費500円 主催:かながわ16区市民の会 問合せ:080-6510-3875(上野さん)
- ☆3月26日(火)18:00~20:30 **オルタナティブな日本をめざして(最終回)「現代日本の政治改革」(新ちよぼゼミ:田中一郎)** <https://1drv.ms/b/s!ArtBTVAH1osVknjUc-TD5yXfueR8?e=ZWqgMp> プレゼン:田中一郎 会場:スペースたんぼぼ(高橋セーフビル1階、JR水道橋駅西口徒歩5分) 参加費(資料代含む):800円(学生400円) 問合せ:tel 03-3238-9035 fax 03-3238-0797 Email:tanpopo3238@yahoo.co.jp
- ☆3月28日(木)18:00~ **憲法改悪を許さない 総がかり行動 署名街頭宣伝** 場所:新宿駅 東南口 共催:戦争させない・9条壊すな!総がかり行動実行委員会/9条改憲NO!全国市民アクション
- ☆3月30日(土)10:00~20:00 **石黒良行さん追悼作品展** 会場:茅ヶ崎市民文化会館1階A展示室(JR茅ヶ崎駅徒歩8分) 入場無料 主催:沈黙しない茅ヶ崎市民ネットワーク 問合せ:090-5408-4041(山本さん)
- ☆3月30日(土)14:00~ **万人坑問題の講演・学習会** 主催:日中友好協会大阪府連合会、同堺支部 会場:国労大阪会館(大阪市・天満駅近く) 講師:青木茂(中国人強制連行と万人坑に関わる著書多数) 参加協力費800円
- ☆3月30日(土)14:00~16:00 **現代の軍拡の特徴と危険性:軍事の歴史から考える** 講師:山田朗(明治大学教授) 会場:川崎・高津市民館11F第6会議室(JR南武線武蔵溝ノ口駅徒歩3分) 主催:安倍改憲NO!オール川崎 集会場は50名定員ですので、オンラインでも山田朗先生の講演を配信いたします。オンライン視聴を希望される方は次のURLから申込み下さい。https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_iKC9vvW1TwabuZ2--t9F5w

- ☆4月1日(木)18:00~20:00 **鶴見平和フェスティバルミニ憲法講座 3. 憲法違反の「秘密保護法・共謀罪」による民主主義の委縮** 会場：鶴見公会堂 1号室・2号室(JR 鶴見駅西口直結、フーガ西友 1号館 6, 7階) 講師：前川雄司弁護士 資料代 200円 申込み：会場の定員まで先着順受付ます。名前と住所、電話、メールアドレスをファックス(Fax. 045-573-8065)で。主催：鶴見区革新懇・鶴見平和フェスティバル実行委員会・ストップ戦争法鶴見区の会
- ☆4月4日(木)16:00~17:45(入館証配布 15:30開始) **市民と野党の共通政策をつくるために(その1)「野党第一党、経済政策を大いに語る」** 会場：衆議院第一議員会館 1階 多目的ホール 参加費無料。予約不要。第1部：議員プレゼン、第2部：参加者の皆さんからの質問票による質疑応答 後日、YouTube公開予定 登壇者：小川淳也 衆議院議員(立憲民主党税制調査会会長、決算行政監視委員会委員長)、末松義規 衆議院議員(立憲民主党最低賃金アップ問題WT座長、財務金融委員会前筆頭理事、不公平な税制の抜本的な正により財源を捻出する会 会長)、落合貴之 衆議院議員(立憲民主党副幹事長、衆議院倫理選挙特別委員会野党筆頭理事) 主催：99%のための経済政策フォーラム 共催：衆議院議員 落合貴之事務所
- ☆4月4日(木)~6日(土) **4月沖縄行動(辺野古・うるま)** 主催：全国革新懇 安保破棄中央実行委員会 行動内容(状況によっては変更することがあります) <1日目> 4月4日 那覇空港 13:00集合 13:15 出発→那覇軍港移転予定地(浦添)→嘉手納・道の駅→ホワイトビーチ→学習交流会(うるま市)→沖縄市内ホテル <2日目> 4月5日 ホテル出発 7:30→辺野古ゲート前座り込み→平和丸にて海上行動→瀬嵩の浜・灯台跡→安部(オスプレイ墜落現場)→学習交流会 名護市内ホテル <3日目> 4月6日 ホテル出発 9:00→辺野古・県民大行動→許田・道の駅→那覇空港 15:30 那覇空港 解散 参加申し込み：参加を希望される方は別紙申し込み用紙で安保破棄中央実行委員会に申し込んでください。申し込み締め切りは2024年3月13日(水)とします。但し、航空券、ホテルに定員がありますので、定員(30人)に達し次第締め切ります。②羽田発の方は航空券の関係上、出発から解散まで同一行動とします。途中離団などはできませんのでご了承ください。羽田→那覇→羽田 航空便+宿泊2泊(シングル利用)は団体での予約となります。羽田発 予約該当便は以下の通りです。【往路】ANA995便 9:30発/12:00着 復路】ANA472便 16:45発/19:15着 4.参加費用(費用は出発前に安保破棄中央実行委員会に振り込んでください) 羽田空港発の方 航空便(羽田/那覇/羽田)+宿泊費2泊(シングル利用)+バス代+諸経費 1人68,000円となります。羽田空港以外から参加の方(那覇空港13:00集合に合わせて航空券はご自身で予約をお願いします) 宿泊費2泊分(シングル利用)+バス代+諸経費で1人32,000円となります。費用は出発前に申込書下部に記載の安保破棄中央実行委員会口座に振り込んでください。問合せ：安保破棄中央実行委員会(03-3264-4764、メール anpohaiki@nifty.com)
- ☆4月5日(金)18:30~ **琉球弧を再び戦場にさせない! 石垣島は今… 4.5 横浜集会** 会場：横浜市技能文化会館 2階多目的ホール(JR 関内駅徒歩5分、地下鉄伊勢佐木長者町駅徒歩3分) 資料代 800円(学生無料) 主催：島ぐるみ会議と神奈川を結ぶ会 協賛：神奈川平和運動センター、原子力空母の母港化に反対し基地のない神奈川をめざす県央共闘会議 連絡先：090-4822-4798(深沢) 4月6日(土)14:00~ 講演会：習近平政権と中国 会場：横浜市健康福祉センターホール(桜木町駅徒歩3分) 講演：及川淳子(中央大学教授) 一般1000円、会員800円、高校生以下無料 主催：日中友好協会神奈川県連事務所(045-663-0041)
- ☆4月5日(金)18:30~ **4月懇談会：選挙イヤーの24年と岸田改憲の行方** 講師：高田健(九条の会事務局) 会場：としま区民センター7階702・703会議室 参加を希望する方は東京9条の会にご連絡ください。主催：九条の会東京連絡会 連絡先：Fax03-5812-4496 mail:http://www.9jo-tokyo.jp
- ☆4月6日(土)14:00~ **栄区パートナーズの会設立5周年記念集会講演会** 会場：あーすぷらざ5階映像ホール(本郷台駅徒歩3分) 入場料500円 講演：加藤彰彦さん(沖縄大学名誉教授)「高齢化・少子化について市民と一緒に考える地域づくり」、金子勝さん(慶応義塾大学名誉教授)「政権交代なしに経済衰退は止められない」 主催：立憲民主党栄区パートナーズの会 共催：立憲民主党神奈川県第4区総支部、早稲田ゆき衆議院議員事務所、長谷川えつこ横浜市会議員政務活動事務所 申込み・問合せ：早稲田ゆき事務所(0467-24-0573)
- ☆4月7日(日)13:30~16:30 **国際人権から考える『日の丸・君が代』の強制 4.7 集会** 会場：東京ボランティア・市民活動センター会議室A・B(飯田橋セントラルプラザ10階、飯田橋駅すぐ) 講演：斎藤美奈子さん(文芸評論家)「それってどうなの主義で行こう!2024」、佐々木亮さん(聖心女子大学講師)「教育専門家の権利・責務・良心・表現の自由」 資料代500円 主催：日の丸・君が代ILO、ユネスコ勧告実施市民会議 連絡先：澤藤統一郎法律事務所 03-5802-0881
- ☆4月7日(日)14:00~15:30 **市民公開学習会「消費税減税で物価高は解消できるか?~私たちはなぜこんなに貧しくなったのか」** 会場：ワークピア横浜2階おしどり・くじゃく(みなとみらい線日本大通り駅徒歩5分) 講師：萩原博子(経済ジャーナリスト) 定員250人(先着順) 参加無料 主催：消費税を含めた税のあり方を考えるネットワーク 問合せ・申込み：045-313-2111(神奈川県保険医協会内)
- ☆4月17日(水)12:00~13:00 **国と自動車メーカーはぜん息患者医療費救済制度の創設を決断せよ!日産グローバル本社前行動** 場所：日産グローバル本社前(JR 横浜駅徒歩7分) 主催：神奈川共同行動実行委員会など 問合せ：044-211-0391(川崎公害病患者と家族の会)

- ☆4月27日(土)～5月5日(日) 10:00～19:00 **第9回知ることで未来が見える 戦争の加害パネル展 特集展示：上海で日本軍は何を 謀略・市街戦・特務機関の暗躍・南京事件の前兆** 会場：かながわ県民センター1階展示室(横浜駅西口徒歩5分) 入場無料 4月27日(土) 14時～映画「南京!南京!」、18時～「ぼくたちは見た ガザ・サムニ家の子もたち」上映会 映画資料代800円(両方の映画が鑑賞できます) 主催：記録の継承を進める神奈川の会 連絡先：090-7405-4276、090-8721-3222
- ☆4月27日(土)13:30～16:30 **神奈川革新懇春の活動交流会** 会場：藤沢市民会館ホール他(JR藤沢駅南口徒歩12分) 主催：神奈川革新懇 問合せ：080-5731-8179
- ☆4月28日(日)～毎月1回開催、全12回 13:00～16:20 **講座「マルクスの資本論体系と変革理論—唯物論的歴史観の視点から読み返す」(全12回)** 会場：第1回はかながわ県民センター305会議室(JR横浜駅西口徒歩5分) 講師：渡辺憲正(関東学院大学名誉教授) 受講料32000円(全12回) 主催：マルクス/エンゲルス原典講読会 問合せ・申込み：megenten@gmail.com
- ☆4月28日(日) 13:30～ **学習会「戦争とジェンダー平等」** 会場：平和と労働会館4階会議室(桜木町駅徒歩5分) 講師：岸松江(弁護士) 主催：神奈川県平和委員会、ジェンダー平等委員会
- ☆5月1日(木) 18:00～20:00 **鶴見平和フェスティバルミニ憲法講座 4. 憲法違反の「土地規制法」による監視社会の恐怖** 会場：鶴見公会堂1号室・2号室(JR鶴見駅西口直結、フーガ西友1号館6、7階) 講師：前田ちひろ弁護士 資料代200円 申込み：会場の定員まで先着順受付です。名前と住所、電話、メールアドレスをファックス(Fax. 045-573-8065)で。主催：鶴見区革新懇・鶴見平和フェスティバル実行委員会・ストップ戦争法鶴見区の会
- ☆5月3日(金・休) 11:00～パレード開始 14:30～ **武力で平和はつukれない! 取り戻そう憲法生かす政治を2024/憲法大集会** 会場：有明防災公園 主催：平和といのちと人権を! 5・3憲法集会実行委員会 共催：九条の会など6団体 問合せ：03-3526-2920
- ☆5月12日(日)10:00～14:00 **第66回神奈川・第561回埼玉合同日曜地学ハイキングのお知らせ：箱根ジオミュージアムと大涌谷自然研究路の見学** 雨天決行 集合場所：10時に小田原駅箱根登山鉄道ホーム集合 見どころ：箱根ジオミュージアムでは大涌谷の地形模型やコラム展示などで、箱根火山の魅力にふれたあと、屋外フィールドの大涌谷で火山の息吹が体験できます。コース：小田原発10:08の登山鉄道、箱根湯本発10:25の登山鉄道、強羅発11:08のケーブルカー、早雲山発11:22のロープウェイで大涌谷着11:37。11時45分から12時30分まで箱根ジオミュージアムの見学。昼食後、13時から13時40分まで大涌谷自然研究路の見学、その後14時ごろ現地で解散。費用：博物館利用料、自然研究路協力金、保険代・資料代を合わせて1000円、交通費実費。持ち物：昼食、水筒、筆記用具、野外活動に適した服装。案内：箱根ジオミュージアムの学芸員。主催：地学団体研究会埼玉支部・神奈川支部。申込み方法：自然研究路は参加者全員の事前登録が必要です。当方で予約しますので、参加希望者は3月末日までに電話またはメールで、氏名、フリガナ、性別、年齢、電話またはメールアドレスをお知らせください。申込み・問合せ：後藤仁敏(090-7175-1911、goto@kd5.so-net.ne.jp)
- ☆5月16日(木)～20日(月) **神奈川県平和委員会・韓国・平和と友好の旅** 16日、12:45成田発、豊臣秀吉軍との激戦地・晋州。17日、国立晋州博物館、晋州城、光州の植民地時代の建物など車窓見学。18日、5.18光州民主化運動記念行事に参加、民主墓地、展示館、望月洞墓地、光州の研究者と懇談。19日、国立日帝強制動員歴史館、朝鮮通信使歴史館、韓国の平和団体と交流。20日、釜山の在韓米軍施設見学、18:15成田着。旅行代金一人225000円(航空諸税別、変更あり) 問合せ：神奈川県平和委員会(045-231-0103) 旅行会社：ピコツアー(03-5411-7218、担当：今野)
- ☆5月19日(日) 13:00～16:30 **第14回鶴見平和フェスティバル 平和を創る集いin鶴見～守ろう憲法9条! 求めよう世界に平和を～** 会場：鶴見公会堂ホール(JR鶴見駅西口直結) プログラム：オープニング：和太鼓演奏 講演1：ダニー・ネフセタイさん「イスラエル軍元兵士が語る憲法9条の真価」 講演2：青井未帆さん(学習院大学法務研究科教授)「憲法9条の視点から安保政策の転換を考える」 参加費500円(高校生以下無料) 呼びかけ人：後藤仁敏(鶴見大学名誉教授)、前川雄司(弁護士)、宮澤由美(汐田総合病院院長)、野末浩之(横浜勤労福祉協会理事長) 主催：実行委員会 問合せ：横浜健康友の会事務局(045-947-3260)
- ☆5月25日(土) 10:00～17:00、6月16日(日) 10:00～17:00 **第55回日本科学者会議定期大会** zoom開催

JSA神奈川支部発送作業・幹事会：日時：4月16日(火) 9時から9時30分 発送作業、9時30分～10時30分 幹事会 会場：横浜市中区不老町1-6-9 第1HBビル5階B かながわ総研の新事務所(1階に「牡丹飯店」という中華料理屋のある第1HBビルの5階です。関内駅南口から徒歩3分) 連絡先：飯岡ひろし(携帯：090-1557-9941、E-mail：iioka408(at)gmail.com)

次号の原稿の募集：近況、論説、報告、旅行記、論評、自著紹介、書評、その他、原稿をメールまたはファックスでお寄せください。毎月10日ごろの締め切り、15日ごろの発送です。 送り先：後藤仁敏(E-mail：goto(at)kd5.so-net.ne.jp、Fax：045-894-1052)